

シミュレーション Case02 国立大医学部志望のBさんの場合

【プロフィール】

- ・公立高校に通う。志望は国立大医学部。
- ・他塾では、英語・数学を受講中。
- ・数学は嫌いではないが、計算のミスが多い。
- ・学校での数学の進度は早くないため、高2の1月時点で数学Ⅲの学習がまだすべて終わっていない。そのため、途中入会した他塾では数学Ⅲの授業についていけない。

数学の受験勉強をする上で、**未学習の分野をなくす**ことは大前提となります。高校数学で扱う道具をまず知らなければ、入試問題を攻略することはできません。数特塾ではもちろん、**基礎事項からの解説講義も**行っています。

【カウンセリング】

まだ数学Ⅲの微分法を学習中という話もあったため、春期前の高2の2月から受講を開始し、まずは**学校の進度を先取りする形で微分法を学習し、4月中に残りの積分法までを完成**させることにしました。微分法の計算でも苦勞をしているということなので、5月から9月までの入試基礎演習では、特に数学Ⅲの演習を手厚く行い、数学ⅠAⅡBの頻出単元の学習との両軸で進めていくことになりました。

10月以降には、添削を含めた記述式答案の書き方を学ぶなどの実戦的な演習へと移ります。ここでも、数学Ⅲを学習する時間を多く作り、苦手意識を取り除くような意図をこめて計画を調整しました。数学Ⅲは正確に計算できるようになるまでに時間がかかり、習熟度がものをいう分野であるからです。医学部数学では避けて通れない数学Ⅲ分野の徹底強化に特化したカリキュラム構成になっています。

【実行結果】

数学Ⅲの基礎講座を終えて、概念はある程度掴むことができていましたが、演習量が不足していました。そこで計算の演習に適切な問題集を1冊紹介してもらい、夏期までにこなすことを目標に設定しました。また計算ミスが多いという弱点は、**計算を工夫すること・考えて計算をすることを意識するように授業で何度も指摘**を受け、徐々に解消されていきました。

志望大学が東京医科歯科大に定まったことにより、10月以降は微積分や体積面積問題をはじめとする**医科歯科大学頻出の問題を中心に構成した演習**に取り組みました。基礎学習の遅れはありましたが、直前期までには入試問題を解く基盤は完成し、入試本番までに過去問を中心とする志望校対策に余裕をもって時間を割くことができました。本番ではとるべき設問を取りこぼすことなく完答し、志望校に合格することができました。

数特塾では、一人ひとりの思考や計算の癖も見逃しません。**授業や課題で指摘**をして、弱点を克服できるように、指導します。また、**志望に合わせた問題演習を構成**するなど、合格に必要なカリキュラムを適切に提供します。

年間スケジュール

月	週	テーマ	レベル・形式		
春期	1	積分計算(数Ⅲ)[基礎]①	基礎講義		
	2	積分計算(数Ⅲ)[基礎]②			
4月	1	面積(数Ⅲ)[基礎]①			
	2	面積(数Ⅲ)[基礎]②			
	3	体積(数Ⅲ)[基礎]①			
	4	体積(数Ⅲ)[基礎]②			
5月	1	関数と方程式①		入試基礎演習	
	2	関数と方程式②			
	3	関数と方程式③			
	4	関数と方程式④			
6月	1	微積分(数Ⅲ)①			
	2	微積分(数Ⅲ)②			
	3	微積分(数Ⅲ)③			
	4	微積分(数Ⅲ)④			
7月	1	図形①	入試基礎演習		
	2	図形②			
夏期	1	数列①			
	2	数列②			
	3	確率①			
	4	確率②			
	5	整数①			
	6	整数②			
	7	極限(数Ⅲ)①			
	8	極限(数Ⅲ)②			
9月	1	複素数平面(数Ⅲ)①	入試基礎演習		
	2	複素数平面(数Ⅲ)②			
	3	面積・体積総合(数Ⅲ)①			
	4	面積・体積総合(数Ⅲ)②			
10月	1	数学ⅠAⅡB演習			入試実戦テスト
	2	数学Ⅲ演習			
	3	数学ⅠAⅡB演習			
	4	数学Ⅲ演習			
11月	1	数学ⅠAⅡB演習			
	2	数学Ⅲ演習			
	3	数学ⅠAⅡB演習			
	4	数学Ⅲ演習			
12月	1	数学ⅠAⅡBⅢ演習		志望校別対策	
	2	数学ⅠAⅡBⅢ演習			
冬期	1	数学ⅠAⅡBⅢ演習			
	2	数学ⅠAⅡBⅢ演習			
	3	センター数学ⅠA演習			
	4	センター数学ⅡB演習			
	5	センター数学ⅠA演習			
	6	センター数学ⅡB演習			
直前期	1	数学Ⅲ演習			
	2	数学Ⅲ演習			
	3	医学部数学対策1			
	4	医学部数学対策2			
	5	医学部数学対策3			
	6	医学部数学対策4			
	7	医学部数学対策5			
	8	医学部数学対策6			

【春期～4月】

高校範囲の学習を一通り完成させることは、入試演習に取り組む際には必須の課題となります。Bさんの場合、4月までに積分の基礎概念を習得し、5月以降の演習に備えます。

【5月～9月】

多くの**医学部で、数学Ⅲの出題割合は高くな**っています。9月までの演習では、**数学ⅠAⅡB範囲の頻出分野と数学Ⅲの学習を2本柱**として進めていきます。

【10月～冬期】

毎回、自宅や教室で制限時間内にテスト問題を事前に解いてもらい、授業に臨みます。

テーマ別の演習から**一歩先に進み、これまで学習した手法をどう引き出し、どう使えばよいかをより実践的な視点**から学習していきます。

【冬期～直前期】

医学部ではどの科目でも**高得点が要求**されるため、センター試験の対策にも重点を置きます。**確実に高得点を取るべく対策**を行い、万全を期します。

直前期では、**受験校にあわせて**、過去問等を用いて大学別の対策を行います。